

既設コンクリート構造物の予防保全を目的とした調査・診断・補修に関する研究委員会  
第4回 WG1、2（合同） 議事録（案）

■日時：2019年5月31日（金） 14:00～17:00

■場所：JCI 本部

■出席者：山口幹事、濱崎幹事、審良委員、井上委員、都築委員、皆川委員  
飯塚委員、花房委員、山本委員、飯塚委員十河顧問、戸口事務局

■配布資料：

- 4-1 第3回 WG1,2（合同）議事録（案）
- 4-2 第2回全体委員会 議事録（案）
- 4-3 第4回 WG2 議事録（案）
- 4-4-1 補修工法の分類（表面含浸）
- 4-4-2 評価方法（表面含浸）
- 4-5 補修工法の分類（ひび割れ補修）
- 4-6 補修工法の分類（下水道）
- 4-7 補修工法の分類（電気化学的防食）
- 4-8 補修工法の分類（表面被覆）
- 4-9 作業メモ（皆川委員より）

■議事

1. 議事録確認

- ・第3回合同 WG（1/28）および第2回全体委員会（3/28）の議事録案について内容を確認した。

2. 議事

1) 補修工法の分類のとりまとめについて

- ・補修工法の分類のとりまとめについて、各工法について、「適用に当たっての短所、留意点」、「長所、優位性」、「評価方法」について説明があった。（ひび割れ補修については、濱崎より説明）
- ・補修材料・工法の評価方法については、①材料・工法選定、②施工品質の確認、③性能の継続性の確認（モニタリング）の3つの目的のどれに適用できるのかが分かるように情報を追加する。
- ・情報の追加は、資料 No.4-4-2 の評価手法の後に、上記3つの目的を表にして該当する欄に○をつけるイメージ。
- ・コストの情報については、材工単価で引用できるものがあれば引用元と合わせて記載する。ひび割れ補修などは設計単価が公表されているものが多いのでそれらを参考にする。
- ・各工法の分類について、各分類が目的や材料の種類などで統一的に分類する。（例えば、ひび割れ補修の性分については、材料の種別（有機系・無機系）と目的（腐食抑制・内圧充填）などが混在しているので、細分類で分かることなどで整理する。（例えば、有機系の下細分類の一つとして内圧充填があるなど）
- ・ひび割れ補修については、適用範囲の”その他”をひび割れ先行型以外のひび割れとして、乾燥収縮

等によるひび割れに対しての適用についても適用の可否を追記する。

- ・ ひび割れ補修の評価方法は、土木学会基準と JIS A 6204 を確認する。
- ・ 含浸材の評価方法は、NSKS（仕上材工業会規格）も確認する。
- ・ 下水道については、該当する JIS と施工マニュアルなどから品質の確認方法などを整理する。
- ・ 電気化学的防食については、使用材料の細かい品質基準や試験方法等は不要だが、どういう材料を評価しているかなどについて整理する。
- ・ 表面被覆工については、建築分野では、仕上塗材（JIS A 6909）および塗膜防水材（JIS A 6021）のうちの物質透過抵抗性とひび割れ追従性が高い一部のものを表面被覆材として適用している。評価方法では、土木学会指針と上記 JIS について確認する。

## 2) 今後のとりまとめについて

- ・ 次回 WG で報告書のとりまとめの方針について検討する。（構成案を濱崎用意）
- ・ 構成案では、WG1 と WG2 の成果の位置づけ等を整理する。（WG2 が環境と構造物の評価でそれに対応した材料・工法評価が WG1 など）
- ・ 補修工法のとりまとめについては、上記を参考に、評価方法の整理と分類の追記、コスト情報の確認などを各自で進める。

## 3. 次回 WG（WG1・2 合同）

8 月 26 日（月）10:00～14:00（14 時～全体委員会）

以上